

令和4年度事業報告

令和4年度においては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス対策を講じながら事業を実施してまいりましたが、国内競技会は概ね事業計画どおりに実施することができました。

令和5年5月8日には新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたため、連盟の感染症対策ガイドライン等を廃止し、令和5年5月11日より一般的な感染症対策に変更しました。

国際競技会への代表派遣事業では、男子代表は8月にカナダのエドモントンで合宿を行い、11月と2月にユーロアイスホッケーチャレンジに参戦しました。男子チームカナダ監督を務めたこともあるペリー・パーン氏を監督に招聘し、このような継続した強化の結果、4月に開催された世界選手権ディビジョンIBで優勝し、2023-2024シーズンはディビジョンIAへ昇格することができました。また、男子U20代表もディビジョンIBで優勝し、IAに昇格することになり、2023-2024シーズンは、U18を含め、男子はすべてのカテゴリーにおいてディビジョンIAで戦うことになりました。

一方、女子代表は、2021-2022女子世界選手権の開催が延期されたため、8月に女子代表を派遣しました。また、2022-2023女子世界選手権は、例年どおり4月に開催され、同一年度に女子代表選手団を2回派遣することとなりました。トップディビジョン・グループAでアメリカやカナダと戦うことにより、競技力の向上につながっています。

ジュニアカテゴリーを含む強化事業は、コロナ禍以前の水準まで戻して実施することができました。

アジアリーグジャパンオフィスは、オールスターゲームを開催し、広報活動を強化しました。また、スポーツ庁より補助金を受けて、試合映像を有料配信する仕組みを構築し、自主財源の確保に努めました。

寄付金は、オンライン決済が定着し、前年度に引き続き、一定額を集めることができました。

加盟団体WEBミーティングも四半期ごとに開催し、加盟団体への情報発信や様々な意見交換を行いました。

スポーツ団体ガバナンスコードの自己説明の公表に向けて、中期計画の第2次案を策定し、公表しました。

財政面においては、本連盟は令和3年度に当期経常増減額マイナス36百万円、令和4年度に同マイナス38百万円と継続して当期経常増減額のマイナスを

計上したことから、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせる状況に該当すると言えます。

しかしながら、主な要因は、コロナ禍での事業実施に際し競技者の安全を考慮した感染症対策費用の増加や急激な円安や燃料費上昇に伴う選手団海外派遣時の航空運賃の高騰等、環境変化に対する計画変更の不足によるものであり、令和5年度以降の事業計画では、事業の優先度により選別実施するとともに、各種助成金の活用や協賛金・寄付金の増額活動を強化しており、保有現預金の現状からみても継続組織の前提に関する不確実性は認められないと判断しております。

なお、2期連続経常増減額のマイナスを計上した背景には、公益財団法人の公益目的事業に課せられた「収支相償」への対応があります。

収支相償とは、公益法人の公益目的事業に係る基本原則であり、単年度で経常増減額が大幅にプラスになった場合は、概ね5年程度の期間内で収支を均衡にすることが求められる特有の規範です。

本連盟においても、会計処理の見直しやコロナ禍による事業の中止等により余剰金が発生したため、令和3年6月時点では、特定費用準備資金として、強化育成積立金5800万円、感染症対策積立金2800万円を積み立て、令和3年度及び4年度においてはそれを取り崩して公益目的事業を積極的に実施し、収支相償に努めた側面もあります。

しかし、令和5年6月に開催された「新しい時代の公益法人制度の在り方に関する有識者会議」の最終報告において、「収支相償原則」が見直され、令和7年を目途に将来の公益目的事業の発展・拡充のためより柔軟な積立を行うことが可能な「公益充実資金」の創設が認められることになったことから、今後は本連盟においても、そうした制度を活用しながら安定した組織運営に努めてまいりたいと考えています。

令和4年度事業報告
令和4(2022)年7月1日～令和5(2023)年6月30日

『公益目的事業1』

1 競技会事業

1-1 全日本アイスホッケー選手権大会の主催

| 本部 | 委員会 | 区分 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|------|----|-------|-------------------------|----------------------------|----------------|--|
| 事業 | 競技事業 | 主催 | - | 第90回全日本アイスホッケー選手権(A) | 2022年12月15日 2022年12月18日 | 長野県 長野市 | 優勝 東北フリーブレイズ 準優勝 ひがし北海道クレインズ 3位 レッドイーグルス北海道 4位 H.C.栃木日光アイスバックス 【NHK BS-1】 決勝、準決勝 |
| | | | JSC基金 | 第57回全日本アイスホッケー選手権(B) | 2023年3月2日 2023年3月5日 | 岩手県 盛岡市 | 優勝 日本製鉄室蘭アイスホッケー部 準優勝 釧路厚生社IHC 3位 DYNAX 4位 香川アイスフェローズ |
| | | | JSC基金 | 第42回全日本女子アイスホッケー選手権 | 2023年3月17日 2023年3月19日 | 北海道 帯広市・札幌市 | 優勝 道路建設ペリグリ 準優勝 Daishin 3位 TOYOTA CYGNUS 4位 SEIBUプリンセスラビッツ |
| | | | - | 第90回全日本アイスホッケー選手権(A)予選会 | 2022年10月29日 2022年10月30日 | 北海道 帯広市 | <第90回全日本アイスホッケー選手権大会(A)出場権獲得> DYNAX、タダノ、日本製鉄室蘭アイスホッケー部、 香川アイスフェローズ |

1-2 その他国内競技会の主催と共催

| 本部 | 委員会 | 区分 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|--------|----|-------|-----------------------------------|--|--|--|
| 強化 | トップリーグ | 共催 | - | アジアリーグ・アイスホッケー | 2022年9月3日 ～2023年3月26日 | 北海道苫小牧市 北海道釧路市 北海道帯広市 北海道札幌市 青森県八戸市 栃木県日光市 神奈川県横浜市 東京都西東京市 韓国安養市 | <レギュラーシーズン> 優勝 HLアニャンアイスホッケークラブ 準優勝 レッドイーグルス北海道 3位 H.C.栃木日光アイスバックス 4位 ひがし北海道クレインズ 5位 東北フリーブレイズ 6位 横浜ブリッツ <プレーオフ> 優勝 HLアニャンアイスホッケークラブ 準優勝 レッドイーグルス北海道 3位 H.C.栃木日光アイスバックス 4位 ひがし北海道クレインズ |
| 事業 | 委員会 | 主催 | JSC<J | 第11回日本女子アイスホッケーリーグ | 1次 2022年10月8～10日 2次 2022年11月25～27日 Final 2023年2月24～26日 | 北海道釧路市 北海道苫小牧市 北海道帯広市 | 優勝 Daishin 準優勝 道路建設ペリグリ 3位 SEIBUプリンセスラビッツ 4位 TOYOTA CYGNUS 5位 釧路ベアーズ 6位 高須クリニック御影グレッズ 7位 札幌インフィニティーズ 8位 VORTEX SAPPORO アイスホッケークラブ 9位 帯広クレインズレディーズ 10位 中学選抜 |
| | | | - | 第10回日本学生女子アイスホッケー大会 | 2022年11月3日 2022年11月6日 | 岡山県 倉敷市・岡山市 | 優勝 日本体育大学スケート部女子アイスホッケー部門 準優勝 東京女子体育大学 3位 琉球大学女子アイスホッケー部 4位 岡山大学女子アイスホッケー部 |
| | | | - | 第18回全日本少年アイスホッケー大会 小学の部“風越カップ” | 2023年3月26日 2023年3月29日 | 長野県 軽井沢町 | 優勝 苫小牧選抜 準優勝 釧路選抜 3位 東京都選抜 4位 帯広選抜 中四国選抜、九州沖縄選抜、兵庫県選抜、埼玉県選抜、 大阪府選抜、岩手県選抜、愛知県選抜、新潟県選抜、 札幌選抜、栃木県選抜、長野県選抜、青森県選抜 |
| | | | - | 第17回全日本少年アイスホッケー大会 中学の部 | 2023年3月25日 2023年3月29日 | 北海道 釧路市 | 優勝 釧路選抜 準優勝 苫小牧選抜 3位 帯広選抜 4位 東京都選抜 U-15長野県代表、中四国選抜、九州選抜、兵庫県選抜、 北信越東海4県選抜、埼玉県選抜、大阪府選抜、 宮城県選抜、岩手県選抜、愛知県選抜、札幌選抜、 栃木県選抜、滋賀・京都選抜、神奈川県代表、 福島・山形合同、青森県選抜 |
| | | | - | 第17回全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会“日光杯” | 2022年11月19日 2022年11月20日 | 栃木県 日光市 | 優勝 帯広選抜 準優勝 愛知県選抜 3位 東京都選抜 4位 兵庫県選抜 中四国・九州選抜、北信越選抜、埼玉県選抜、 大阪・京都・滋賀選抜、宮城県選抜、岩手県選抜、 札幌選抜、栃木県選抜、苫小牧選抜、釧路選抜、 関東選抜、青森県選抜 |
| | | | - | 第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会 | 2022年8月3日 2022年8月7日 | 北海道 苫小牧市 | 優勝 八戸工業大学第一高等学校 準優勝 埼玉栄高等学校 3位 北海道清水高等学校 3位 水戸啓明高等学校 京都ジュニアワイルドビーズアイスホッケークラブ、 光泉高校アイスホッケー部、北海道栄高等学校、 北海道釧路江南高等学校、北海道高等学校、岩手県選抜、 愛知県選抜、日光明峰高校、東京都高体連選抜、 東北高等学校、武修館高等学校、武相高等学校、 熊本沖繩選抜、白樺学園高等学校、苫小牧中央高等学校、 苫小牧東高等学校、西武ホワイトベアーズ、 釧路工業高等学校、長野県選抜、関西大学第一高等学校、 青森県立八戸工業高等学校、 駒澤大学附属苫小牧高等学校、 Fukuoka Breakers Ice Hockey Team |
| | | | - | 第43回全国中学校体育大会 | 2023年1月27日 2023年1月30日 | 栃木県 日光市 | 優勝 釧路市立景雲中学校 準優勝 全十勝C 3位 八戸市立第二中学校 4位 東京都選抜 中南信合同、八戸合同、埼玉県選抜、宮城県選抜、 山梨県選抜、岩手県選抜、日光市立日光中学校、 日光市立東中学校、東北信合同、東胆振中学合同B、 神奈川県選抜、郡山市立熱海中学校 |
| | | | - | 第72回全国高等学校総合体育大会 | 2023年1月21日 2023年1月24日 | 北海道 釧路市 | 優勝 駒澤大学附属苫小牧高等学校 準優勝 武修館高等学校 3位 白樺学園高等学校 3位 埼玉栄高等学校 光泉高校アイスホッケー部、八戸学院光星高等学校、 八戸工業大学第一高等学校、北海道帯広工業高等学校、 北海道栄高等学校、北海道清水高等学校、 北海道釧路江南高等学校、岩手県選抜、 慶應義塾高等学校スケート部ホッケー部門、日光明峰高校、 早稲田実業学校高等部、明治大学付属中野高等学校、 東北高等学校、武相高等学校、水戸啓明高等学校、 群馬県立高崎工業高等学校、軽井沢高等学校、 釧路工業高等学校、釧路湖陵高等学校、 関西大学第一高等学校、青森県立八戸工業高等学校、 青森県立八戸高等学校、龍谷富山高等学校 |

| 本部 | 委員会 | 区分 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|--------|----|--|----------------------------------|----------------------------|---|--|
| 事業 | 競技事業 | 後援 | - | J-ICE Northディビジョン | 2022年9月11日 2023年2月19日 | 北海道 全道各地 | 優勝 日本製鉄室蘭アイスホッケー部 準優勝 DYNAX 3位 釧路厚生社 4位 タダノ 5位 札幌ホッケークラブ 6位 東部ブレイズ |
| | | | - | J-ICE Eastディビジョン | | | 実施無し |
| | | | - | J-ICE Centralディビジョン | 2022年11月19日 2022年11月20日 | 長野県 岡谷市 | 優勝 長野県 準優勝 愛知県 3位 富山県 4位 新潟県 石川県、福井県、静岡県 |
| | | | - | J-ICE Westディビジョン | 2022年11月26日 2023年1月20日 | 滋賀県 大阪府 香川県 | 優勝 Rep大阪 準優勝 香川アイスフェローズ 3位 和歌山クラブ 4位 レッドローズ |
| | | | - | J-ICE Southディビジョン | 2022年11月19日 2022年11月20日 | 広島県 広島市 | 優勝 岡山県選抜 準優勝 愛媛県・島根県合同 3位 広島県選抜 4位 山口県選抜 |
| | | | - | J-ICE Play Off | 2023年3月18日 2023年3月19日 | 岡山県 倉敷市 | 優勝 日本製鉄室蘭アイスホッケー部 準優勝 WEST選抜 3位 ALLセントラル 4位 岡山県選抜 |
| | | | - | 第95回日本学生氷上競技選手権大会 | 2022年12月20日 2022年12月25日 | 東京都 東大和市・西東京市 神奈川県横浜市 | 優勝 明治大学 準優勝 東洋大学 3位 中央大学 4位 法政大学 中京大学、九州大学アイスホッケー部、京都産業大学、信州大学、八戸工業大学、北陸大学、同志社大学、大東文化大学、大阪工業大学、専修大学、岡山大学、帯広畜産大学、慶應義塾大学、日本体育大学、日本大学、早稲田大学、札幌大学、東京大学、東北学院大学、東海大学、琉球大学、神奈川大学、立命館大学、立教大学、関西大学、関西学院大学、青山学院大学、龍谷大学 |
| 国体 | 共催 | - | 特別国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 □開催負担金支出 | 2023年2月1日 2023年2月5日 | 青森県 八戸市・南部町 | <少年の部> 優勝 北海道 準優勝 青森県 3位 埼玉県 4位 栃木県 5位 東京都 6位 宮城県 7位 愛知県 8位 福岡県 兵庫県、広島県、沖縄県、滋賀県、神奈川県 <成年の部> 優勝 北海道 準優勝 東京都 3位 長野県 4位 埼玉県 5位 青森県 6位 千葉県 7位 愛知県 8位 京都府 佐賀県、兵庫県、和歌山県、大阪府、宮城県、富山県、山口県、岡山県、岩手県、広島県、新潟県、栃木県、沖縄県、熊本県、神奈川県、福岡県、福島県、香川県 | |
| | | - | 第28回全日本オールドタイマー大会Over50 | 2023年3月24日 2023年3月26日 | 福島県郡山市 | 優勝 大阪ビリケン KINGS 準優勝 札幌ホッケークラブシニア 3位 十勝ブルーレジェンド 4位 プレッツァ・ヨコハマ 釧路O-50、青森県シニア、岩手シニア、TOCHIGI Revolutions、千葉・茨城'S、シニアモンスターズ、キャピタルズ、原宿ドラゴンカーズ・満大・明治合同、成城スパースターズ、セントラル50、アイスウエスト(Over50)、BLACK BLADES | |
| 普及 | 生涯スポーツ | 主催 | - | 第11回全日本オールドタイマー大会Over60 | 2023年3月17日 2023年3月19日 | 熊本県熊本市 | 優勝 キャピタルズ 準優勝 釧路O-60 3位 宮城ダディーズ 帯広オジンガー、Sapporo Desperado、苫小牧KILENKA、シニアモンスターズ、東京キングス Over 60、慶應ドクターズ、プレッツァ横浜、セントラル60、近畿選抜、アイスウエスト、九州 |
| | | | - | 第7回全日本オールドタイマー大会Over70 | 2023年3月17日 2023年3月19日 | 熊本県熊本市 | 優勝 とまこまい70s 準優勝 EAST北海道 3位 バンスター Desperado70、東京キングス Over 70、70 オールスターズ・ウエスト |
| | | | - | 第11回全国社会人アイスホッケー大会Over35 | 2023年5月13日 2023年5月14日 | 東京都江戸川区 | 中止 (開催地、会場等の都合がつかず、開催目途が立たなかったため) |
| | | | - | 第25回全日本インラインホッケー選手権(A) | 2023年6月17日 2023年6月18日 | 北海道帯広市 | 優勝 TEAM JAMM 準優勝 かんた食堂 GinzaGenkai桜、TEAM KOMARU、BLOOD、Brute |
| | インライン | 主催 | スポーツ安全協会 | 第25回全日本インラインホッケー選手権(B) | 2022年7月16日 2022年7月17日 | 兵庫県丹波市 | 優勝 STIGA 準優勝 maffick 3位 BANDITS 4位 LOVERS広島 5位 ダイナモ 6位 日体大ドリームズ |
| | | | スポーツ安全協会 | 第25回全日本インラインホッケー選手権(L) | 2022年7月16日 2022年7月17日 | 兵庫県丹波市 | 優勝 Team SONIC 準優勝 peanuts 3位 WeLLs 4位 LOVERS LADIES 5位 日体大ドリームズ レディース |
| | 普及 | 主催 | 太陽生命 | 第11回全日本小学生低学年選抜大会【太陽生命U9ジャパンカップ】 | 2023年3月18日 2023年3月19日 | 神奈川県横浜市 | 優勝 北信越東海A 準優勝 栃木県選抜 3位 東京都選抜 4位 北信越東海B 5位 大阪府選抜 6位 岩手県選抜 7位 埼玉・群馬合同 8位 山梨・茨城合同 9位 千葉県選抜 10位 神奈川県選抜 11位 九州・沖縄選抜 12位 中・四国選抜 |

| 本部 | 委員会 | 区分 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|------------------------------------|--------------------------|--------|---|--------------------------|---------|--|
| 普及 | 普及 | 補助 | - | 競技会補助事業 (北海道地区) 第50回日ア連会長杯北海道大会 | 2023年2月4日 2023年2月6日 | 北海道釧路市 | 優勝 昭和小学校 準優勝 釧路ユナイテッドB 鳥取西小学校、北見リトルバイオン、鳥取小学校、 釧路ユナイテッドA、アイスナイト釧路 助成確定額: 200,000円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (北海道地区) 第50回道南地区新人小学生大会 | 2023年3月4日 2023年3月5日 | 北海道苫小牧市 | 優勝 苫小牧Westアイスキング 準優勝 BURNING BULLET 3位 レッドスターズ 4位 BLUEサンダーズ 苫小牧ジェッツ、北海道バーバリアンズH.C.、 SAPPORO KING STARS 助成確定額: 193,904円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (北海道地区) 第38回日ア連会長杯小学生道央大会 | 2023年3月 | 北海道 | 中止 (開催目途が立たなかったため) |
| | | | - | 競技会補助事業 (東北地区) 第8回全日本少年アイスホッケー選手権大会東北大会 | 2023年1月14日 2023年1月15日 | 岩手県盛岡市 | <小学生の部> 優勝 青森県選抜 準優勝 岩手県選抜 3位 宮城県選抜 4位 福島県選抜 <中学生の部> 優勝 青森県選抜 準優勝 岩手県選抜 3位 宮城県選抜 4位 福島・山形合同 助成確定額: 142,895円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (関東・東京地区) 第48回関東少年大会 | 2023年1月7日 2023年1月9日 | 栃木県日光市 | <小学生の部> 優勝 西武ホワイトベアーズ 準優勝 埼玉ジュニアウォリアーズ 3位 日光イースタン 4位 清滝ドラゴン 千葉ジュニアペンギンズ、 ソニックス・甲府モンキーズ・甲府チェスカ合同、 新横浜ジュニア、群馬ジュピター、明治神宮外苑、 江戸川アーマーズJr、今市ボンバーズ、宇都宮ブルーインズ、 西武東大和ジュニア、アイリンズ、稲毛マリナーズ、 YOKOHAMA STARS <中学生の部> 優勝 日光市立日光中学校 準優勝 日光市立東中学校 3位 江戸川アーマーズJr 4位 西武ホワイトベアーズ アイリンズ、稲毛マリナーズ、群馬ジュニア・ジュピター合同、 新横浜ジュニア、YOKOHAMA STARS、高田馬場アトムズ、 埼玉ジュニアウォリアーズ・氷球ガールズ合同、 ソニックス・甲府モンキーズ・甲府チェスカ合同 助成確定額: 35,409円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (関東・東京地区) 第38回東京都春季アイスホッケー大会 | 2023年4月29日 2023年5月5日 | 東京都西東京市 | <小学生の部> 優勝 高田馬場アトムズ 準優勝 江戸川アーマーズJr 3位 明治神宮外苑 4位 西武ホワイトベアーズ 5位 西武東大和ジュニア <中学の部> 優勝 西武ホワイトベアーズ 準優勝 高田馬場アトムズ 3位 江戸川アーマーズJr 4位 明治神宮外苑 5位 西武東大和ジュニア 助成確定額: 0円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (北信越・東海地区) 第18回風越カップ北信越・東海ブロック予選会 | 2023年2月4日 2023年2月5日 | 愛知県豊橋市 | 優勝 愛知県 準優勝 新潟県 3位 静岡県 4位 富山県 5位 石川県・福井県連合 助成確定額: 68,334円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (近畿地区) 第49回西日本小・中学生競技大会 | 2023年4月1日 2023年4月3日 | 大阪府大阪市 | <小学生の部> 優勝 中日ジュニア 準優勝 カイザーズジュニア 3位 名古屋サウスクラブ 4位 難波Jr.IHC <中学の部> 優勝 中日ジュニア 準優勝 臨海ジュニアIHC 3位 福岡ゴールデンジェット 4位 カイザーズジュニア 助成確定額: 166,485円 |
| | | | - | 競技会補助事業 (中四国地区) 第29回ももたろう杯ジュニア・アイスホッケー競技大会 第27回さえら杯中学生アイスホッケー選手権 | 2023年4月29日 | 岡山県倉敷市 | 優勝 西宮アイスホッケークラブ 準優勝 神戸ポートアイランドジェッツジュニア 3位 岡山ジュニア 4位 香川CUBS 松山オレンジホーネット、山口・あんず・福山合同、 広島コレクターズ・島根ブレイクジュニア合同、岡山ジュニア、 助成確定額: 200,000円 |
| - | 競技会補助事業 (九州地区) 第39回九州小・中学生選手権大会 | 2023年3月11日 2023年3月12日 | 熊本県熊本市 | <小学生の部> 優勝 飯塚シャークスジュニア 準優勝 福岡アイスホッケースポーツ少年団 3位 福岡香椎ヒリュース 4位 福岡スターズ 沖縄サザンヒルジュニア、広島コレクターズ、 スコアブルーエンジェルズジュニア <中学の部> 優勝 福岡ゴールデンジェット 準優勝 香川CUBS SELECT 3位 飯塚シャークスジュニア 4位 スコアブルーエンジェルズジュニア 広島コレクターズ・松山オレンジホーネット合同、 福岡アイスホッケースポーツ少年団 助成確定額: 200,000円 | | | |

1-3 国際競技会の主催と共催

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|------|-----|-----|----|-----|------|
| 事業 | 競技事業 | | | | | 開催なし |

1-4 国際競技会への代表者の派遣

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|-----|--------|--------------------------------|----------------------------|-----------------------------|---|
| 強化 | 強化 | JOC | ユーロアイスホッケーチャレンジ | 2022年11月10日 2022年11月13日 | ハンガリー ブダペスト | <参加国> イタリア、ウクライナ、スロベニア、ハンガリー、フランス、日本 |
| | | JOC | ユーロアイスホッケーチャレンジ | 2023年2月6日 2023/2/13 | イギリス ミルトン・ケインズ コベントリー | <参加国> イギリス、ポーランド、ルーマニア、日本 |
| | | JOC | 男子世界選手権Division 1B / 事前合宿 | 2023年4月23日 2023年4月29日 | エストニア タリン | 優勝 日本 準優勝 ウクライナ 3位 中国 4位 エストニア 5位 オランダ 6位 セルビア |
| | | JOC派遣 | 第31回FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ(男子) | 2023年1月11日 2023年1月21日 | アメリカ合衆国 レークブラシッド | 優勝 カナダ 準優勝 アメリカ 3位 カザフスタン 4位 日本 5位 スロバキア 6位 ウクライナ 7位 チェコ 8位 ハンガリー 9位 韓国 10位 ラトビア 11位 スウェーデン 12位 イギリス |
| | | JOC次世代 | 男子U20世界選手権Division 1B / 事前合宿 | 2022年12月11日 2022年12月17日 | ポーランド ビトム | 優勝 日本 準優勝 ウクライナ 3位 イタリア 4位 ポーランド 5位 ハンガリー 6位 韓国 |
| | | JOC次世代 | 男子U18世界選手権Division 1B / 事前合宿 | 2023年4月23日 2023年4月29日 | フランス アンジェ | 優勝 カザフスタン 準優勝 デンマーク 3位 日本 4位 ハンガリー 5位 ウクライナ 6位 フランス |
| | | JOC | 女子世界選手権 Top Division / 事前合宿 | 2022年8月25日 2022年9月4日 | デンマーク ヘアニング・フレゼリクスハウン | 優勝 カナダ 準優勝 アメリカ 3位 チェコ 4位 スイス 5位 日本 6位 フィンランド 7位 スウェーデン 8位 ハンガリー 9位 ドイツ 10位 デンマーク |
| | | JOC | 女子世界選手権 Top Division / 事前合宿 | 2023年4月5日 2023年4月16日 | カナダ ブランプトン | 優勝 アメリカ 準優勝 カナダ 3位 チェコ 4位 スイス 5位 フィンランド 6位 スウェーデン 7位 日本 8位 ドイツ 9位 ハンガリー 10位 フランス |
| | | JOC | 4 Nations Tournament | 2022年12月15日 2022年12月17日 | フランス アミアン | <参加国> デンマーク、ハンガリー、フランス、日本 |
| | | JSC<じ> | IIHFハイパフォーマンスキャンプ | 2022年7月6日 2022年7月18日 | フィンランド ヴィエルマキ | 選手5名、スタッフ2名参加 |
| | | JOC派遣 | 第31回FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ(女子) | 2023年1月11日 2023年1月21日 | アメリカ合衆国 レークブラシッド | 優勝 カナダ 準優勝 日本 3位 チェコ 4位 スロバキア 5位 アメリカ 6位 イギリス |
| | | JSC<じ> | 女子U18ユーロアイスホッケートーナメント① | 2022年11月8日 2022年11月13日 | チェコ テブリツェ | <参加国> チェコ、フィンランド、日本 |
| | | JSC<じ> | 女子U18ユーロアイスホッケートーナメント② | 2022年12月15日 2022年12月17日 | フィンランド ピエルマキ | <参加国> スロバキア、チェコ、フィンランド、日本 |
| | | JOC次世代 | 女子U18世界選手権 Top Division / 事前合宿 | 2023年1月8日 2023年1月15日 | スウェーデン エステルスンド | 優勝 カナダ 準優勝 スウェーデン 3位 アメリカ 4位 フィンランド 5位 チェコ 6位 スロバキア 7位 スイス 8位 日本 |

【参考】 国際アイスホッケー連盟ナショナルチームブレイク

| | 2022-2023シーズン | 2023-2024シーズン | 2024-2025シーズン |
|----|------------------|------------------|------------------|
| 第1 | 2022/08/22-08/28 | 2023/08/21-08/27 | 2024/08/26-09/01 |
| 第2 | 2022/11/07-11/13 | 2023/11/06-11/12 | 2024/11/04-11/10 |
| 第3 | 2022/12/12-12/18 | 2023/12/11-12/17 | 2024/12/09-12/15 |
| 第4 | 2023/02/06-02/12 | 2024/02/05-02/11 | 2025/02/03-02/09 |

2 講習・育成事業

2-1 審判員・競技役員等の養成講習事業

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|-------|-----|------------------------|---------------------------|------------|--|
| 事業 | レフェリー | - | 全国レフェリー委員長会議 参加44名 | 2022年9月20・21日 | ZOOM | レフェリー登録 合計 男 652 +女 48 +高 30 = 730 名 北海道ブロック 北海道 男 121 +女 12 +高 0 = 133 名 東北ブロック 青森 男 115 +女 3 +高 4 = 122 名 岩手 男 9 +女 0 +高 0 = 9 名 秋田 男 4 +女 0 +高 0 = 4 名 山形 男 2 +女 0 +高 0 = 2 名 宮城 男 12 +女 3 +高 0 = 15 名 福島 男 4 +女 0 +高 0 = 4 名 |
| | | | レフェリークリニック 東北 参加12名 | 2022年11月19・20日 | 青森県八戸市 | 関東ブロック 茨城 男 10 +女 1 +高 0 = 11 名 栃木 男 11 +女 1 +高 3 = 15 名 群馬 男 11 +女 1 +高 0 = 12 名 埼玉 男 5 +女 0 +高 0 = 5 名 千葉 男 21 +女 1 +高 2 = 24 名 神奈川 男 24 +女 2 +高 0 = 26 名 山梨 男 32 +女 4 +高 2 = 38 名 東京ブロック 東京 男 41 +女 3 +高 0 = 44 名 北信越東海ブロック 長野 男 40 +女 2 +高 0 = 42 名 静岡 男 6 +女 0 +高 0 = 6 名 愛知 男 30 +女 2 +高 0 = 32 名 新潟 男 16 +女 3 +高 1 = 20 名 福井 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 石川 男 10 +女 0 +高 0 = 10 名 富山 男 5 +女 0 +高 0 = 5 名 岐阜 男 2 +女 0 +高 0 = 2 名 三重 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 |
| | | | レフェリークリニック 北信越東海 参加30名 | 2022年11月12・13日 | 新潟県上越市 | 近畿ブロック 滋賀 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 京都 男 7 +女 0 +高 0 = 7 名 大阪 男 16 +女 1 +高 0 = 17 名 和歌山 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 奈良 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 兵庫 男 18 +女 1 +高 0 = 19 名 中四国ブロック 鳥取 男 4 +女 0 +高 0 = 4 名 島根 男 6 +女 0 +高 0 = 6 名 岡山 男 12 +女 0 +高 0 = 12 名 広島 男 33 +女 5 +高 18 = 56 名 山口 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 徳島 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 香川 男 8 +女 3 +高 0 = 11 名 愛媛 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 高知 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 |
| | | | レフェリークリニック 近畿 参加21名 | 2022年11月12・13日 | 兵庫県尼崎市・西宮市 | 九州ブロック 福岡 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 佐賀 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 長崎 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 熊本 男 7 +女 0 +高 0 = 7 名 大分 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 宮崎 男 8 +女 0 +高 0 = 8 名 鹿児島 男 0 +女 0 +高 0 = 0 名 沖縄 男 2 +女 0 +高 0 = 2 名 |
| | | | レフェリークリニック 中四国 参加42名 | 2022年10月29・30日 | 広島県広島市 | |
| | | | IIHFレフェリーセミナー 参加2名 | 2023年4月18 2023年4月21日 | 韓国水原市 | |
| 強化 | 国際 | - | 国際人養成アカデミー受講 | 2022年6月17日 2022年11月19日 | 東京都北区 | 受講者1名 |

2-2 アイスホッケーの競技力向上の講習事業

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など | |
|----|-------|--------|---|--|--|--|---------------|
| 強化 | 医科学安全 | - | アンチ・ドーピング講習(eラーニング) 対象:アジアリーグ参加者、女子リーグ参加者、全日本選手権参加者) | 2022年9月~12月 | WEB | アジアリーグ 5チーム 講師:高橋洋文 女子リーグ 9チーム 講師:高橋洋文 全日本選手権 12チーム 講師:高橋洋文 | |
| | | | アンチ・ドーピング講習 対象:代表強化事業参加者 (男子代表、女子代表、男子U20・U18代表、女子U18代表) | 2022年7月 | カナダ エドモントン | 男子代表候補合宿参加者向け講習 選手24名 スタッフ9名 講師:金子知広 | |
| | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により研修会が行えなかったため、 Play True Book及びGlobal DRO JAPAN、アンチ・ドーピング使用可能薬リスト、 code2021配布。 | 2022年7月 | 北海道 苫小牧市 | 女子代表候補合宿参加者向け講習 選手25名 スタッフ2名 講師:和光努 | |
| | | | | 2022年8月 | 北海道 苫小牧市 | 男子U20代表候補合宿参加者向け講習 選手22名 スタッフ9名 講師:金子知広 | |
| | | | | 2022年11月 | 北海道 苫小牧市 | 男子U18代表候補合宿参加者向け講習 選手27名 スタッフ9名 講師:金子知広 | |
| | | | アンチ・ドーピング啓発普及活動 <教育資料送付・配布> 加盟団体、代表強化事業参加者、検査対象競技会参加チーム、レフェリークリニックなど <バナー・ポスター掲示や大会プログラム内啓発広告掲載> 全日本選手権、全日本女子 | | 全国各地 | JADA作成のアンチ・ドーピングポスターを苫小牧NTCや全日本選手権、全日本女子にて掲示。また、全日本選手権、全日本女子等においてアンチ・ドーピング啓発バナー掲示や大会プログラム内啓発広告掲載 JADA作成配布資料を全加盟団体、各代表事業参加者、全日本選手権参加チーム、全日本女子参加チームなどへ送付 | |
| | NTC | - | 男女強化スクール | 2022年8月~12月 2023年3月・6月 | 北海道 苫小牧市 | 45回実施 | |
| 普及 | 普及 | JSC<J> | スキルチャレンジ・クリニック | 2022年7月1日 2022年8月7日 2022年10月8日 2022年10月20日・11月10日 2022年11月27日 2023年2月9日 2023年2月12日 2023年2月17日 2023年2月18日 | 岡山県倉敷市 岩手県盛岡市 兵庫県西宮市 富山県富山市 愛媛県松山市 岡山県岡山市 沖縄県島尻郡 岡山県倉敷市 福岡県福岡市 | 参加者15名 スタッフ11名 参加者26名 スタッフ12名 参加者26名 スタッフ9名 参加者20名 スタッフ10名 参加者16名 スタッフ6名 参加者20名 スタッフ6名 参加者16名 スタッフ7名 参加者23名 スタッフ11名 参加者35名 スタッフ13名 | |
| | | | 太陽生命 | ジュニアアイスホッケークリニック | 2023年3月21日 | 岩手県盛岡市 | 参加者30名 スタッフ5名 |

2-3 指導者育成講習事業

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|--------------------------|-----|---|--|-----------------------------|---|
| 普及 | 育成 (医科学安全) (総務委員会) | - | 公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者養成講習会 (含アンチ・ドーピング講習、コンプライアンス講習) | 2022年10月15・16・29・30日 2022年10月22・23日 11月26・27日 2022年11月12・13・19・20日 | 北海道苫小牧市 長野県岡谷市 岩手県盛岡市 | 受講者7名 受講者24名 受講者13名 |
| | 育成 | - | JSP0公認指導者の拡充と養成講習プログラムの改善を推進 一貫指導体制の構築と独自ライセンス制度導入に関する調査研究及び開発 日本独自の育成プログラム確立に向けた調査研究推進 プレー機会の増大とスキル向上に効果的なハウスリーグの導入支援 | 2023年3月29日 | ZOOM | 普及・育成委員会開催 一貫指導プログラムのJDM、コーチライセンス制度の見直し・新設、 FUNdamental(楽しさ・基礎)Eラーニング制度の導入、日本の育成モ デル構築の議論・推進及び、IHFに対して普及・育成の面から期待 することを議論した |

2-4 海外遠征チームの競技力向上合宿

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | 結果など |
|----|-----|-------|----------------------------|---|--|--|
| 強化 | 強化 | JOC | 男子代表エドモントン遠征 | 2022年7月9日 2022年7月17日 | カナダ エドモントン | 選手24名 スタッフ10名 |
| | | JOC | 男子代表4月合宿 | 2023年4月1日 2023年4月6日 | 北海道 苫小牧市 | 選手38名 スタッフ13名 |
| | | JSC<J | 男子U20キャンプ① | 2022年8月14日 2022年8月17日 | 北海道 苫小牧市 | 選手22名 スタッフ10名 |
| | | JSC<J | 男子U20キャンプ②(海外キャンプ) | 2022年8月 | 未定 | 中止 |
| | | JSC<J | 男子U20キャンプ③ | 2022年12月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JSC<J | 男子U18キャンプ① | 2022年11月1日 2022年11月6日 | 北海道 苫小牧市 | 選手27名 スタッフ10名 |
| | | JSC<J | 男子U18キャンプ②(海外キャンプ) | 2022年11月1日 | 未定 | 中止 |
| | | JSC<J | 男子U18キャンプ③(海外キャンプ) | 2023年2月3日 2023年2月13日 | スロバキア ボブラド | 選手23名 スタッフ5名 |
| | | JSC<J | 男子U18キャンプ④ | 2023年3月20日 2023年3月26日 | 北海道 苫小牧市・安平町 | 選手25名 スタッフ10名 |
| | | JSC<J | 男子U16キャンプ① | 2022年8月4日 2022年8月7日 | 北海道 安平町 | 選手33名 スタッフ10名 |
| | | JSC<J | 男子U16キャンプ②(海外キャンプ) | 2023年2月18日 2023年2月26日 | スロバキア トレンチン | 選手22名 スタッフ5名 |
| | | JSC<J | 男子U16・14キャンプ③(ブロックキャンプ①~⑧) | 2022年8月20・21日 2022年10月1・2日 2022年10月15・16日 2022年10月22・23日 2022年11月5・6日 2022年11月19日 2022年11月20日 2022年11月26・27日 2022年12月3日 2022年12月4日 2022年12月10・11日 | 滋賀県大津市 青森県八戸市 北海道苫小牧市 北海道釧路市 神奈川県相模原市 宮城県黒川郡 岩手県盛岡市 北海道帯広市 福岡県福岡市 岡山県岡山市 長野県軽井沢町 | ①U16 選手27名 U14 選手30名 スタッフ12名 ②U16 選手48名 U14 選手24名 スタッフ6名 ③U16 選手51名 U14 選手28名 スタッフ7名 ④U16 選手23名 U14 選手23名 スタッフ6名 ⑤U16 選手22名 U14 選手29名 スタッフ5名 ⑥U16 選手19名 スタッフ4名 ⑦U14 選手24名 スタッフ4名 ⑧U16 選手24名 U14 選手22名 スタッフ5名 ⑨U16 選手23名 スタッフ4名 ⑩U16 選手29名 スタッフ4名 ⑪U16 選手23名 U14 選手23名 スタッフ4名 |
| | | JSC<J | 男子U16キャンプ④ | 2023年1月6日 2023年1月9日 | 北海道 安平町 | 選手33名 スタッフ9名 |
| | | JSC<J | 男子U14キャンプ | 2023年3月10日 2023年3月12日 | 北海道 苫小牧市 | 選手29名 スタッフ10名 |
| | | JOC | 女子7月合宿 | 2022年7月14日 2022年7月21日 | 北海道 苫小牧市 | 選手25名 スタッフ3名 |
| | | JOC | 女子8月合宿 | 2022年8月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JOC | 女子10月合宿 | 2022年10月21日 2022年10月29日 | 北海道 苫小牧市 | 選手25名 スタッフ9名 |
| | | JOC | 女子ヨーロッパ遠征12月 | 2022年12月1日 | 未定 | 中止 |
| | | JOC | 女子ヨーロッパ遠征2月 | 2023年2月1日 2023年2月14日 | ハンガリー ブダペスト | 選手21名 スタッフ8名 |
| | | JOC | 女子3月合宿 | 2023年3月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JOC | 女子6月合宿 | 2023年6月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JSC<J | 女子ユースキャンプ | 2022年12月26日 2022年12月30日 | 北海道 苫小牧市 | 選手24名 スタッフ5名 |
| | | JSC<J | 女子U18キャンプ① | 2022年7月25日 2022年7月29日 | 北海道 苫小牧市 | 選手30名 スタッフ6名 |
| | | JSC<J | 女子U18キャンプ② | 2022年9月6日 2022年9月11日 | 北海道 帯広市 | 選手24名 スタッフ8名 |
| | | JSC<J | 女子U18キャンプ③ | 2022年10月21日 2022年10月29日 | 北海道 苫小牧市 | 選手25名 スタッフ6名 |
| | | JSC<J | 女子U18キャンプ④ | 2022年11月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JSC<J | 女子U16キャンプ① | 2023年3月23日 2023年3月26日 | 北海道 苫小牧市 | 選手35名 スタッフ9名 |
| | | JSC<J | 女子U16キャンプ② | 2023年6月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JSC<J | 女子U16キャンプ③(ブロックキャンプ①~⑦) | 2022年7月9日 2022年7月10日 2022年7月31日 2022年10月15日 2023年1月21日 2023年2月5日 2023年2月19日 | 神奈川県横浜市 北海道釧路市 岩手県盛岡市 岡山県岡山市 大阪府大阪市 長野県岡谷市 福岡県福岡市 | ①U16 選手26名 スタッフ5名 ②U16 選手29名 スタッフ6名 ③U16 選手26名 スタッフ5名 ④U16 選手26名 スタッフ6名 ⑤U16 選手14名 スタッフ4名 ⑥U16 選手24名 スタッフ4名 ⑦U16 選手8名 スタッフ3名 |
| | | JSC<J | 女子U14キャンプ①(海外キャンプ) | 2022年9月 | カナダ ストニークリーク | 中止 |
| | | JSC<J | 女子U14キャンプ② | 2023年6月 | 北海道 苫小牧市 | 中止 |
| | | JSC<J | 女子U14キャンプ③ | 未定 | 未定 | 中止 |

2-5 アイスホッケーの普及奨励事業

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | |
|------|--------------------------|-------|--|---------------|---------|---|
| 事業強化 | 競技事業 トップリーグ (ALJO) | JSC強化 | アジアリーグ活性化事業 マネジメント機能強化 レフェリー派遣 レフェリー研修会 アイスホッケーキャンプ プログラム製作 | 通年 | | ・アジアリーグへのレフェリーの派遣、レフェリースーパーバイザー ならびに担当役員の派遣 ・各メディアへのPR活動、メディアガイドの配布 ・アジアリーグ大会プログラムの企画制作、印刷、メディアガイドの企画制作、印刷 ・各開催会場でのプログラムの販売促進、販売およびメディアへの配布 ・各メディアへのPR活動、メディアガイドの配布 ・レフェリー研修会では画像等を活用し、審判技術の向上と判定の目線合わせを行い、試合の質を高めることに努めた ・ジュニア対象のキャンプを東京・旭川で開催し、リーグのトップレベルの選手が直接指導を行うことで、参加者への強い動機付けを行い、競技者育成の礎とした |
| 企画 | マーケティング 広報 | - | ホームページ管理運営・Web環境整備 | | | 継続中 |
| | | - | メディア関係者とのコミュニケーション活動 | 通年 | | 長野市、東京都内 |
| | | | 国内での競技会における広報策の検討及び取材対応 | | | 長野市他 |
| | | | アイスホッケーに関する情報発信及び発信環境整備 | | | 継続中 |
| | アスリート | - | 当連盟に関して発信する情報の管理 | | | 継続中 |
| | | | リスペクト憲章の啓蒙支援(フラッグ、ポスター、小冊子等整備) | 通年 | | 登録会員へのアンケートと集計結果による活動方針の決定 |
| 普及 | 普及(国際) | - | IIHF GGG(グローバル・ガールズ・ゲーム) | 2023年2月18・19日 | 東京都西東京市 | IIHF GGG(グローバル・ガールズ・ゲーム)が、2月18日～19日に世界40カ国が参加し開催 日本では『2022年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦』(ダイドードリンコアイスアリーナ開催)のシルバースーパースターズ(Team Blue)vs 東京女子体育大学(Team White)が参加 <試合結果> シルバースーパースターズ(Team Blue) 2 - 3 東京女子体育大学(Team White) Team Blue 226 - 216 Team White(世界全体) |
| | | | IIHF WGIHW(ワールドガールズアイスホッケーウィークエンド) | 2022年10月8・9日 | 岡山県岡山市 | 選手40名参加 |

3 競技技術の調査研究事業

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | 期日 | 開催地 | |
|----|-------|--|--|----|---|--|
| 強化 | 強化 | JOC | 競技会等強化視察 □強化スタッフによる全国各カテゴリー競技会および海外(対戦国)などの視察とスカウティング | 通年 | | 強化スタッフによる全国各カテゴリー競技会などの視察スカウティングを実施 |
| | | | 専任コーチングスタッフ配置(コーチアカデミー参加者2名) トップコーチ3名、ジュニア担当コーチ3名、メディカルスタッフ2名 | | | <ナショナルヘッドコーチ> ・キャリアーリック:2022/4/1～2022/8/31 ・ペリーバーン:2022/9/1～2023/6/30 <ナショナルチームコーチA> ・岩本裕司:2022/4/1～2023/6/30 ・山中武司:2022/4/1～2023/6/30 ・春名真仁:2022/4/1～2023/6/30 <ナショナルチームコーチB> ・中島谷友二郎:2022/4/1～2023/6/30 ・外崎慶:2022/4/1～2023/6/30 ・大北照彦:2022/4/1～2023/6/30 <メディカルスタッフ> ・金子知広:2022/4/1～2023/6/30 ・和光努:2022/4/1～2023/6/30 <競技用具スタッフ> ・吉田年伸:2022/4/1～2023/6/30 |
| | 医科学安全 | 国際的医科学・安全管理情報の収集 安全管理基準策定と普及 感染症対策の関する指導 | | | 2022年8月22日 JIHF主催大会新型コロナウイルス感染症対応マニュアル策定 2023年5月11日 JIHF事業における新型コロナウイルス感染症各種対策の一般化 | |
| | - | ドーピング検査(競技会) 全日本選手権(A) | | | 長野県長野市 | 選手8名 採取8検体 分析8検体 |
| | - | ドーピング検査(競技会) 全日本女子選手権 | | | 北海道札幌市 北海道帯広市 | 選手8名 採取8検体 分析8検体 |
| 事業 | 競技事業 | - | 公式記録作成マニュアルの調査研究及び作成、日ア連faceoffシステムの改修 競技運営に関する各種マニュアルの整備 | | | ゲームシート作成および、 オンラインゲームシートの改修等を行った |

4 競技施設及び用具等の研究指導並びに公認事業

| 本部 | 委員会 | 事業名 | |
|----------|------------------|---|---|
| 強化 | 医科学安全 | 安全管理機材・機器等の普及 AED、スバインボード、ヘッドイモビライザー、フレキシブルゴールベグほか | 安全管理機材・機器等の情報収集と指導 |
| 事業 総務 | 競技事業 総務 | 施設・設備・用具等の公認 □電光掲示装置ほか | 公認電光掲示システム セイコータイムシステムズ、ダクトロニクスジャパン、アセント |
| 総務 | 環境 | 環境に配慮した施設や大会運営に関する検討と指導 | 委員会にて検討と指導・啓発を行った |
| 企画 事業 | 企画 競技事業、レフェリー | ビデオゴールジャッジシステムの簡易汎用化の研究と普及 | 継続中 |
| 総務 強化 | 総務 NTC、強化 | 苫小牧市NTCマネジメント受託事業 | マネジメント担当人員1名配置 |
| 事業 | 競技事業 レフェリー | 国際ルール改訂への対応 | 加盟団体へ通達文を発信 |

5 その他

| 本部 | 委員会 | 事業名 | | | |
|-------|------------------|--|---|---|-----------------------|
| 総務 | ガバナンスコード対応プロジェクト | 「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体＞」への対応を推進する | | スポーツ団体ガバナンスコード対応検討プロジェクトチーム ガバナンスコード対応検討会(2022年7月12日) ガバナンスコード関連検討会(2022年7月14日) 評議委員会多様性検討会(2022年8月19日) ガバナンスコード対応検討会(2023年4月4日) 中期計画およびガバナンスコードの成り行きについて、各地域ブロックにおいて説明・意見交換 ガバナンスコード適合審査対応 | |
| | 総務 | 中長期計画の策定に向けた検討推進 オンライン寄付金募集システムの運用 新宿区ふるさと納税事業への参加 | | JJHF中期計画(第二次策定)の検討推進 オンライン寄付金募集システムの運用および、 ジャージ寄付開始 新宿区ふるさと納税事業への参加 | |
| | 審議 | ペナルティ報告の管理・指導 登録資格などの管理・指導 | | マッチペナルティ、ゲームミスコンダクトペナルティの懲戒追加処分に対するの疑義照会について継続検討 *ペナルティ報告件数 78件(2022.7.23-2023.6.29) *ペナルティ報告内訳 MP23件(KICK:5件 CHE-H:13件 HI-ST:1件 SLEW:3件, CHARG:1件) GM:55件 *懲戒追加処分 10試合出場停止:2件、 5試合出場停止:23件、3試合出場停止:16件、 試合出場停止:2件、1試合出場停止:7件 加盟団体別登録チーム数・登録者数 (2022年4月1日～2023年3月31日) 合 計 767チーム 16,876名 北海道 128チーム 3,201名 滋賀県 9チーム 176名 青森県 34チーム 846名 京都府 9チーム 222名 岩手県 22チーム 387名 大阪府 44チーム 955名 秋田県 5チーム 66名 和歌山県 1チーム 18名 山形県 7チーム 72名 奈良県 0チーム 0名 宮城県 17チーム 357名 兵庫県 28チーム 598名 福島県 6チーム 125名 鳥取県 1チーム 41名 茨城県 11チーム 213名 島根県 5チーム 71名 栃木県 22チーム 497名 岡山県 12チーム 257名 群馬県 10チーム 172名 広島県 12チーム 176名 埼玉県 6チーム 215名 山口県 4チーム 98名 千葉県 12チーム 290名 徳島県 2チーム 34名 東京都 114チーム 3,126名 香川県 7チーム 103名 神奈川県 62チーム 1,393名 愛媛県 6チーム 97名 山梨県 15チーム 177名 高知県 1チーム 26名 長野県 26チーム 528名 福岡県 29チーム 588名 静岡県 3チーム 70名 佐賀県 3チーム 50名 愛知県 32チーム 653名 長崎県 3チーム 41名 新潟県 16チーム 201名 熊本県 9チーム 168名 福井県 4チーム 100名 大分県 1チーム 14名 石川県 8チーム 130名 宮崎県 1チーム 34名 富山県 8チーム 107名 鹿児島県 1チーム 18名 岐阜県 1チーム 20名 沖縄県 9チーム 134名 三重県 1チーム 11名 | |
| | 環境 | 環境保護に関する啓発・実践活動の検討・指導 | | 環境委員会活動の年度総括のJOCへの報告 | |
| 企画 | マーケティング広報 | マーケティング | スポンサー誘致活動及びスポンサー誘致に関する企画検討 公式グッズ等の企画検討 商標・肖像・放映権等の有効活用方法の検討 | 新規協賛企業の獲得 大会グッズ等の企画検討 肖像権・放映権については継続検討中 | |
| | | 広報 | メディアとの関係構築検討 情報発信策の検討 | Twitter、YouTube等のSNSへ配信をタイムリーに実施 | |
| | 企画 | 国内のアイスアリーナ・スケートリンク施設の向上及び増加に向けた調査研究 女子競技者・指導者・レフェリー・競技役員等の活動環境の向上に向けた調査研究 AIカメラシステムの利用による映像配信普及及び収益性確保に向けた調査研究 | | 中長期計画策定すべく、現状認識の確認 全国リンク状況の確認および環境整備着手 競技事業本部とAIカメラや映像配信等について検討 | |
| | アスリート | アスリート視点での各種提言や理事会等からの諮問に応ずる | | 理事会への出席 | |
| | 改革プロジェクト | トップリーグ | アジアリーグジャパンオフィスとともにアジアリーグの発展について検討・推進する | | 継続して検討中(トップリーグ委員会と協働) |
| | | 競技・地域活性化 | 関係本部・委員会を連携させ、国内全体のカテゴリー別競技会体系の再編を検討する | | 継続して検討中(事業本部と協働) |
| 普及育成 | | 関係本部・委員会を連携させ、競技者、指導者、レフェリー、競技役員などの育成体系確立に向けた調査研究及び推進する | | 継続して検討中(普及本部との協働) | |
| レフェリー | | 関係本部・委員会を連携させ、レフェリーの普及・育成・強化に関する調査研究及び資格認定制度再整備に向けた調査研究を推進する | | 継続して検討中(事業本部との協働) | |
| | 登録促進 | 関係本部・委員会を連携させ、チーム、会員、ゲームオフィシャル、競技役員など総合的登録制度及びシステムの改修についての調査研究 | | 継続して検討中(総務本部との協働) | |
| 普及 | 普及 | 競技人口、応援人口、支援人口などの増加拡大に向けた施策について検討 若年層の競技参加、競技継続に向けた支援策の検討 | | スキルチャレンジやジュニアアイスホッケークリニックの在り方の検討 ジュニア世代の競技人口やチーム数の推移等を基に部活動地域移行等について研修参加、今後の対策を検討 競技人口等の増加に向け総務本部と共に中期計画の検討 | |
| | 育成 | JSPO公認指導者の拡充と養成講習プログラムの改善検討 一貫指導体制の構築と独自ライセンス制度導入に関する調査研究 日本独自の育成プログラム確立に向けた調査研究 | | 公認指導者有資格者へのアンケートを行い、今後の公認指導者資格やコーチライセンス制度について検討を行うと共に、総務本部と共に中期計画の検討 一貫指導プログラムJDM、コーチライセンス制度の見直し・新設、FUNdamental(楽しさ・基礎)Eラーニング制度の導入、日本の育成モデル構築の議論・推進 | |
| | 生涯スポーツ | 生涯スポーツとして発展、浸透するよう各種大会(オールドタイマー大会、社会人大会など)の開催運営方法や競技方法を検討 | | 開催日程や開催地、会場等の都合がつかず、開催目途が立たなかったため、全日本社会人大会の中止を決定 オールドタイマー大会の参加規程の検討・推進 | |
| | インライン | インラインホッケーの競技人口拡大や競技発展に向けた調査研究 | | 大会の開催方法や在り方の検討 | |

| 本部 | 委員会 | 事業名 | |
|-------|--------|--|--|
| 強化 | 国際 | IIHF等国際役員ポスト獲得に向けた施策検討 国際会議出席(IIHFアジア会議・IIHF年次総会・IIHF準年次総会等) 海外団体への対応サポートや海外派遣、国際競技会国内開催等をサポート | IIHF準年次総会出席(水野会長・三枝委員長他) JOC表敬訪問(IIHF オモルカノフ評議会副会長・三枝委員長) Women Committeeへの参加サポート IIHF Asia and Oceania Strategic Planning Group参加(三枝委員長) |
| | 強化 | 強化方針、計画、強化育成に関する施策などを検討 | 強化本部会議を開催し、2021シーズン総括や2022シーズンに向けての強化指針、男女各カテゴリーの課題や取り組みについて、医科学安全委員会・NTC委員会・高体連・中体連等の方を交えての会議・情報共有を行った 定期的に本部会議や各カテゴリーごとの会議を開催し、強化方針や計画、育成に関する施策等を検討 |
| | 医科学安全 | 傷害報告の管理と分析、医科学的情報の共有、安全管理施策を検討 | 傷害報告の管理と分析・共有、安全管理施策検討 新型コロナウイルス感染症対策の情報共有及び、検討 事業における新型コロナウイルス感染症各種対策の一般化について検討 |
| | トップリーグ | アジアリーグアイスホッケーとの連携並びにその活性化や広報に関する事項を検討・実行 | 映像配信についての検討・推進 アジアリーグオールスターゲームとJHIF50周年記念トーキイベント等の同時開催の推進 |
| | NTC | NTC競技別拠点を利用する各種事業における効率的活用に関する事項を検討・実行 | NTCマネジメント機能受託 NTC活用推進委員会の実施 競技別NTC合同ミーティングへの参加 |
| 事業 | 競技事業 | 国内開催競技会の円滑な運営管理方法の検討 主催競技会等の開催地の調整検討 | 主催競技会開催地年次計画の策定 全日本アイスホッケー選手権(A)、 全日本女子アイスホッケー選手権、 日本学生女子アイスホッケー大会等について 新型コロナウイルス感染症対策の情報共有及び、検討 事業における新型コロナウイルス感染症各種対策の一般化について検討 |
| | 国体 | 国民体育大会競技別実施要項の精査検討及び指導 国民体育大会開催誘致に関する指導支援 | 今後の国スポ開催に向けた課題等の整理・検討 特別国体青森の開催サポート 吉小牧国スポ開催に向けての準備 |
| | レフェリー | レフェリー、ラインズマンの発掘、育成、教育に関する施策の検討 国際レフェリー、ラインズマンの養成に関する施策の検討 | レフェリー及び、レフェリースーパーバイザーの各開催地への派遣 新型コロナウイルス感染症及び対策の情報共有及び、検討 新型コロナウイルス感染症各種対策の一般化について検討 ゲームオフィシャル等の活動・育成環境の向上及び、レフェリー規程・ライセンス制度整備に向け検討・推進 2022/9/20・21 全国レフェリー委員長会議ZOOM ルール解釈の統一を図り、全国のレフェリーの技術の向上を図った |
| 理事会直轄 | 倫理 | 綱紀粛正の周知徹底 倫理・社会規範意識の啓蒙 通報相談窓口の設置・運営 | 通報窓口へ届いた案件への対応 |

『収益事業1』

1 物品販売事業

| 本部 | 委員会 | 事業名 | |
|----|-----------|------------------------------|--|
| 企画 | マーケティング広報 | 商標・肖像等を使ったグッズの企画販売 ルールブック | 商標・肖像等を使ったグッズの企画販売について継続検討中 ルールブックのネットによる改訂版の普及を行った |

2 標章等の使用許可事業

| 本部 | 委員会 | 事業名 | |
|----|-----------|---|--|
| 企画 | マーケティング広報 | 商標・肖像などの管理・販売 映像アーカイブの保持・管理 TV放送権などの管理・販売 | 商標・肖像などの管理・販売ルートの検討 Youtubeでの大会ライブ配信およびアーカイブ映像の公開 TV放送権などの管理・販売は、第90回全日本選手権で実施 |

『その他』

| 本部 | 委員会 | 助成等 | 事業名 | |
|----|-----|-------|--|--|
| 総務 | 総務 | JSC<J | 諸規程等総合整備事業 | <令和4年度ガバンスコード対応プロジェクト会議> ・7月12日(火) WEB 参加者:10名 テーマ:中期計画・中間報告、評議員会多様性向上について ・7月14日(木) WEB 参加者:8名 テーマ:評議員会、役員推薦委員会改革について ・8月19日(金) WEB 参加者:10名 テーマ:評議員会の多様性確保及び役員推薦委員会構成案について <令和4年度に実施した取組> ・7月末 ガバンスコード適合審査スタート ・1月末 職員就業規則の一部改正、正職員転換規程の一部改正 ・3月末 加盟団体代表者会議等運営規程の制定 |
| | | - | 国際アイスホッケー連盟・日本体育協会・日本オリンピック委員会・日本スポーツフェアネス推進機構、日本アンチ・ドーピング機構、日本スポーツ仲裁機構、加盟 | 加盟中 |
| | | - | 理事会・評議員会開催 定時評議員会(9月) 理事会 | 2022年7月20日 評議員・加盟団体意見交換会 2022年7月30日 第1回理事会 2022年9月10日 第2回理事会 2022年9月24日 定時評議員会 2022年11月19日 第3回理事会 2023年1月21日 第4回理事会 2023年3月11日 第5回理事会 2023年4月22日 第6回理事会 2023年6月24日 第7回理事会 |
| | | - | 規程類整備、事務局運営、業務改善等、法人運営に関する改善検討 | 各課題の改善検討を行った |
| 企画 | 企画 | - | 日本アイスホッケー連盟50周年記念式典の企画 | 2023年1月15日ダイドードリンコアイスアリーナにて、50周年記念トーキイベントおよびパネル展示を実施 50周年記念式典及び、功労賞等の企画・推進 |

令和4年度事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。